



個別案件(専門家)

2015年05月16日現在

本部/国内機関 : 社会基盤・平和構築部

案件概要表

案件名	(和)地上デジタル放送導入支援アドバイザー (英)Advisor for implementation of Digital TV in Uruguay
対象国名	ウルグアイ
分野課題1	情報通信技術(ICTの利活用を含む)-放送
分野課題2	
分野課題3	
分野分類	公共・公益事業-通信・放送-放送
プログラム名	プログラム構成外
援助重点課題	-
開発課題	-
プロジェクトサイト	ウルグアイ国全土
協力期間	2012年08月09日 ~ 2014年08月09日
相手国機関名	(和)工業エネルギー鉱業省通信局
相手国機関名	(英)National Direction of Telecommunications and Audiovisual Communication(DINATEL) of the Ministry of In

プロジェクト概要

背景 ウルグアイ政府は2010年12月、デジタルテレビ日伯方式(ISDB-T)の採用を決定し、2012年にISDB-T方式の展開を開始する。しかしながら、同国においてはアナログ放送に関する経験が少なく、デジタル放送開始にあたってのマスタープラン作成、機材の調達プラン、地上デジタル放送機材、またその運用のための技術など様々な面において、知見・資機材が不足している状況である。

上位目標 ウルグアイ国全土にて、2015年までに日伯方式による地上デジタル放送が実施される。

プロジェクト目標 ウルグアイ国において日伯方式による地上デジタル放送が円滑に導入される。

成果

1. 地上デジタル放送導入にあたってマスタープラン及びチャンネル計画が作成され、円滑に実施される。
2. 地上デジタル放送導入のために必要な現地技術専門家が育成される。
3. 地上デジタル放送導入のために必要な機材が調達される。
4. RF(Radio Frequency:高周波)の測定が行われる。

活動

1. 地上デジタル放送導入のためのマスタープラン及びチャンネル計画の作成・実施を支援する。
2. 地上デジタル放送導入のために必要な現地技術専門家を育成する。
3. 地上デジタル放送導入のために必要な機材の調達を支援する。
4. RF(Radio Frequency:高周波)の測定を行う。

投入

日本側投入 ・長期専門家1名 1名×24人月
・在外事業強化費(プロジェクト活動に必要な小規模資機材等):4,440千円

相手国側投入 C/Pの配置(3名)、執務スペース(執務机、通信機器、インターネット)

実施体制

(1)現地実施体制

DINATELはオーディオビジュアル等テレコミュニケーション政策について行政府にアドバイスする責務を負う。

関連する援助活動

(1)我が国の
援助活動

1)我が国の援助活動(我が国の他スキームの援助活動、我が国が支援を行っている政策的イニシアティブの下での援助活動との連携・関係について、案件名のみではなく、連携内容等についても言及する)

(2)他ドナー等の
援助活動

2)他ドナー等の援助活動(関連する他ドナー等の援助活動の内容及び連携・関係について記述する)

現在、ブラジル政府の協力を得てすすめられているデジタル放送研究所創設プロジェクトがある。